

平成22年10月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

## 彼岸花咲く傍らの板石塔婆

友の会理事 金子清敏

50年以上も昔、確かポート池の上あたりに、松林に囲まれた「文化会館」という高床式建物があり、その敷地に現在の博物館の前身があったと記憶しています。教職員であった父親たちの食事会の間、私たち子どもは近くの草むらで遊んでいたものでした。それから25年たって、私の娘たちが博物館の火起こし遊びに世話になり、更に20年経過して、私がここで解説ボランティアをするとは予想だにしませんでした。

それは、3年前の11月に博物館の正門前に貼られた、目立たない「ボランティア募集」広告がきっかけでした。受験勉強以上に「歴史」に関心があったわけではなかったのですが、娘たちが受けたサービスへの恩返しと思い、そこで余暇時間をつかうことに決めました。

小さいころから「石ころ」には興味をもち、道路工事用の石山や線路の敷石から火打石や水晶を探したものでした。小学校の遠足では長瀬で、綺麗な鱗石（滑石）を探し、また、高校の時には地学部の活動で長瀬の紅簾片岩を内緒で削って顕微鏡で覗き、更に罅穴とは何ぞやと疑問を追い求めていました。

学生時代には、秩父鉾山に50日も過ごし、坑内地下300Mの切羽ではアルファーマイトで発破されてくずれた粉碎地で、爆破時刻を知らずに掘削穴に入り込んだりして、それでも、見事にキラキラする産まれたての結晶に触れるのは、自分が世界で初めて～という思いをもって採取したものでした。

そんな一連の経験が、まさか、歴史ボランティア活動に生きようとは思いませんでした。と、いいますのは、展示室の地下中央6室にそびえたつ板石塔婆（板碑）群が科学博物館でもないのになぜあるのか、それが歴史を語る遺物であることが当初は分からなかったものですから、「石」に巡り会えたことを単純によろこびました。そして、板石塔婆が、長瀬にあった緑泥片岩と知ったときの昂ぶりが、往時の歴史を追う原動力となったのです。

当博物館第6室には大小、各種、年代的に代表される埼玉地区の板石塔婆を25基展示していますが、鎌倉幕府と交戦時の両者の供養塔や、南北朝時代の双方の紀年号が記載された板石塔婆を見ると、往時の時代の流れが垣間見え、その由緒を追い求め、現地を何回も訪れました。

県内はもとより、北から南へ、他県の博物館、資料館、寺、墓地、街道筋にある古塚に散見される板石塔婆を追いかけてもきました。

屋外の板碑は、室内に保存されている板碑（もしくは拓本）と比較すれば、字は読みにくいのですが、供養塔として忘れ去られても何百年ものあいだ、風化に耐えて、そこに立っていたことが凛々しく思えます。（昭和55年に全県で2万7000基あった板石塔婆が、いまは半分位でしょう。）

ことしの彼岸花は、彼岸が過ぎてから咲き始めました。毎年、彼岸を迎えると赤・白・橙と鮮やかに、またひっそりと花咲く「万寿紗華」の秩父路には、武蔵武士の戦いが物語るように緑色の板石塔婆が聳えているのです。

## 友の会トピックス①

### ☆特別展「埼玉の古代寺院」が始まりました

この友の会が平成18年4月に創立され、最初の講演会が「古墳が初めて造られたころ—謎の前方後方墳の誕生—」と題した当時の高橋一夫館長のお話で、翌5月には「東国最古・謎の寺谷麿寺の誕生—古代寺院が初めて造られたころ—」という高橋一夫館長の講演をいただきました。

日本で初めての仏教寺院は6世紀末に造られた飛鳥寺。その直後、埼玉県に寺谷麿寺（滑川町）が造られています。どうして飛鳥寺の次が埼玉の寺谷麿寺なのか、国分寺が全国に造られるよりも前の仏教の伝播の経路は？、これも大きな古代ロマン。

その回答が得られるかもしれない、この特別展は興味深いものだと思います。

また、関東に4~5体しかない白鳳仏のひとつである深大寺のお釈迦さまが拝観できるのも楽しみです。

（ちなみに関東にある白鳳仏は他に①千葉県竜角寺の薬師如来②三宅島・海蔵寺の観音菩薩③武蔵国分寺跡から出土の観音菩薩④ほかに個人蔵の白鳳仏があるとか？）

### ☆いよいよ、11月は群馬県歴史博物館館長・黒田日出男先生の講演会

黒田先生の近著は「江戸図屏風の謎を解く」（角川選書）。先生は、この本で「江戸図入門」を始めとして、「国立歴史民俗博物館所蔵の江戸図屏風の解釈」「再発見された江戸天下祭図屏風の解釈」をお書きになっておられます。

先生は最近、「シャーロック・ホームズの冒険」のDVDをお楽しみになっておられ、この本も推理物、歴史推理だとおっしゃっています。

クローダー・ホームズが絵画史料のなかに入り込み、登場人物の素性を洗い、小さな物的証拠を拾って、文字史料では伝わらない「歴史の真実」を推理される快刀乱麻の切れ技を、うっとり拝見（聞？）させていただきます。

### ☆片山義博総務大臣は博物館をツブスのか？

先日の内閣改造によって、総務大臣に就任された片山総務相の経歴が紹介されるときに気になったことがありました。

以前、鳥取県知事だったとき、博物館を廃止？したとか、テレビで言っていたのです。

片山総務相は自治官僚出身、にもかかわらず、行政改革の先頭に立ってこられた方だと思っていました。例の「仕分け」を推し進めるのはよいけれど、「博物館」まで対象にするなよー、闇雲に、なんでも「仕分け」てしまうような、無教養のオッサンが地方自治の財布をにぎったら、全国の博物館は軒並み閉館になるのかなあ、と恐怖に震えました。

一丁、調べてやろう、とインターネットをたたきましたが、ちょっと安心しました。

鳥取県知事るとき、博物館をやめさせたのは計画中だった「砂丘博物館」のこのようでした。鳥取県立博物館は現存しています。たしかに「砂丘博物館」もよいけれど、どうも観光がらみのおいがプンプンします。これなら、賢明な片山さん、財政状況を踏まえて「ツブして」いただいても結構でした。

しかし、各県に、いまある博物館にだけは手をつけないでください。これらは各県民の「人間として」の存在を確認しているものです。ご先祖さまがいなければ、いまの人間はいないのです。ご先祖さまの存在の証拠をなくすということは、ナチスのやった「人間虐殺」と同じです。

## 友の会トピックス②

### 1. 今後の友の会と博物館などのイベントスケジュール

- ◎10月17日(日) 友の会見学会「栃木県立博物館とその周辺」 ご案内・井上尚明氏
- ◎10月24日(日) 特別展記念講演会「仏教と受容の広がり」須田 勉・国士館大教授
- ◎11月6日(土) 友の会講演会「絵画史料を読み解く」 黒田日出男・群馬県立歴史博物館長 ○
- ◎11月6日(土) 博物館ミュージアムトーク「魂のゆくえ」山本修康氏
- ◎11月7日(日) 博物館ミュージアムトーク「名品を愛でる」西口由子氏
- ◎12月<日程など詳細未定> 「県立自然の博物館と秩父の古代」見学会
- ◎1月30日(日) 「三富新田と車人形」見学会
- ◎2月<日程など詳細未定> 「出張博物館 in 上里」見学会
- ◎3月26日(土)～5月8日(日) 降嫁150年記念・特別展「皇女和宮と中山道」
- ◎3月27日(日) 講演会「武蔵の国学者たち」 講師・中川和明氏
- ◎3月<日程など詳細未定> 遺跡発掘見学会

- ・ 博物館ミュージアムトークは当日受付・先着30名。毎回、午後1時半から30分
- ・ 博物館と埼玉大学共催のミュージアムカレッジは満員となったとのことです。

▲11月15日(月)～3月14日(月)まで博物館改修工事のため休館・友の会は元気に営業中！

### 2. 「やぶさめサミットin毛呂山」へ、あなたもぜひ！

このニュースに同封させていただきましたチラシのとおり、10月31日(日)から11月3日(水)まで、毛呂山町では流鏝馬(やぶさめ)関係の行事が次々に行なわれます。

チラシにないことを、ここでご紹介させていただきます。

- ◎10月31日(日) シンポ来館者はもれなく記念クリアファイルと総合案内解説書がもらえる。
- ◎11月2日(月) 流鏝馬一行が町を回る行事があります。この一行と一緒に流鏝馬ゆかりの場所をたどってはいかがですか。

12時半 福社会館(出雲伊波比神社横) 集合・出発

16時 出雲伊波比神社で解散

<参加申込み 10月23日(土)までに資料館 049-295-8282 へ。参加無料>

- ◎11月3日(火) 流鏝馬本番の日 9時～馬場で朝的(あさまとう)行事  
10時～神社で式典 10時40分～的がえの式(拝殿)  
11時～野陣(馬場の西側) 13時～14時半 各種行事  
14時半～夕的(ゆうまとう) 17時 手締め(境内)

### 3. 友の会会費、3月末まで1,000円です。お知り合いに体験入会をおすすめください

現在、友の会の年会費(3月まで)を1,000円とさせていただきます。

上記のように、博物館は休館となりますが、友の会の行事は毎月1回続けて行ないます。

会費1,000円は、友の会の雰囲気、よさなどを知っていただくチャンスです。ぜひ、あなたの身の回りのかた、お友達にご入会をおすすめください。=現在、会員数413名=

一人でも、仲間がふえることは、友の会の勢いをまし、博物館の元気を世間に示すこととなります。毎度、ご協力のお願ひばかりですが、今回もよろしくお願ひいたします。

**当イベントのお申込みは、このニュースで詳細発表のあととしてください。その前の申込みは無効です。**

# 絵画史料を読み解く

講師 群馬県立歴史博物館館長・東京大学名誉教授 黒田日出男 先生

<「江戸図屏風の謎を解く」「王の身体、王の肖像」などの著者>

とき 平成22年11月6日(土) 午後1時半～

場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

<東武野田線・大宮公園駅下車5分>

わが国には絵画、絵図、絵巻など、膨大な絵画史料が残されています。これまで、歴史の研究史料としてあまり活用されていなかった、これらの史料を使って、歴史の真実に迫ろうという黒田先生。その推理のプロセスをお教えいただくご講演は楽しいものとなること請け合いです。

参	加	無	料
---	---	---	---

☆参加のお申込みは往復ハガキ（同居の場合以外は1人1通）にイベント名・お名前・ご住所・電話番号・友の会会員は会員番号を明記、10月29日（金）までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。定員150名。先着順。（定員オーバーの場合はお断りすることもあります）

埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成22年11月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

## 『緊急報告 埼玉のまつりは今』 に思うこと

副館長 柳 正博

秋も深まりましたが、ちょうど今ごろは麦まきの季節になります。麦まきの時期については農家の一大関心事で、長年の経験則からさまざまな伝承が編み出されました。比企地域では、「栗毛の馬が山に入って区別がつかなくなったころがマキシシ（最適期）」といわれ、11月3日前後が目安とされました。こうした自然暦のほかに、祭りや行事を判断基準とするケースも見られます。本庄市のある家では、「麦まきが終わったから、秩父のお祭りに行くべえ」といって仕事を1日休みます。これは「妙見様（いわゆる秩父夜祭）がくるまでには麦まきを終わらせろ」という言い伝えによるものです。皆野町には、旧暦10月10日の「十日夜」を麦まき終了とする家があります。この日はツクリアゲといって、餡を入れた餅を作ります。その傍らで、サクキリに用いた鋏をきれいに洗って台所に並べ、ツクリアゲの餅を供えて農具に感謝します。場所によっては、モグラモチと称す餡入りの餅を畑に供える家もあります。このほか、イイシゴトで麦まきを手伝ってくれた人を招いて酒やごちそうでもてなし、謝意を表す家も見られます。

今お話ししたことは全て過去形となり、ヒトと自然、ヒトとヒトとのつながりは薄れてしまいました。先人が生み出した「知恵」は、影も形もなくなりつつあります。

さて、9月20日から毎週月曜日に、埼玉新聞で『緊急報告 埼玉のまつりは今』という連載が始まりました。これは埼玉民俗の会による企画で、今までに、「小川の百八灯」「盆行事」「浦山の川施餓鬼」「葬送儀礼」「龍勢祭り」「煤川の獅子舞」が掲載されましたが、その中で、次のフレーズが目にとまりました。

- 子ども減り、大人が主役に
- 出身者も伝承に一役
- 過疎化でやむなく休止
- 地縁薄れ、業者任せに
- 危険避ける知恵と技

これは、記事の見出しの一部です。別にサラリーマン川柳の応募作を考えたわけではなく、掲載されたまつりの現状を記者が如実に表したフレーズです。今も元気なまつりがある一方で、大半は後継者不足等の問題を抱えています。そのため、「小川の百八灯」のように、子ども主役の行事であっても子どもがゼロとなり、大人のカバーで急場をしのいでいる事例をはじめ、期日の土日移行や、行事内容を簡略化して存続を図るなど、それぞれのおかれた事情によって苦心のあとがうかがえます。また、葬送儀礼はホールを会場とする家が増えたために業者の出番が増大し、儀礼は画一化されました。地域とのつながりはどんどん薄れるばかりで、いよいよ「無縁社会」の到来でしょうか。

このように、各地で古くから伝わる無形の民俗文化財の多くは本来の姿が失われ、危機的な状況に瀕しています。こうした現象は、「時代の流れなので（消滅も）やむをえない。本来の姿でなければ残す意味がない」のか、「形を変えてでも残すべき」なのか……。数学の問題のような模範解答は出ませんが、みなさまはどのように思われますか？

## 友の会トピックス

### 1.花王・コミュニティミュージアム・プログラム 2010 でー

昨年度に引き続き、今年度も応募 84 件のなかから助成のいただける 28 件のなかに加えていただきました。50 万円いただけます。おかげさまで。ありがとうございました。

さて、今年度は何をするのか。ニュース次号で発表させていただきます。会員の皆さまにも、お仕事を分担していただくこととなります。友の会は講演会や見学会を行なうだけではありません。会員のみんなでチカラを合わせ、ココロを一つにして、「何か」を成し遂げるのも、いいことではないでしょうか。よろしく、お願いいたします。

### 2.イベントのお申込み方法を変更させていただいてー

少し、ご面倒になりましたが、講演会は往復ハガキで、見学会は通常ハガキで～という原則も、ご理解をいただいていたかなあ、と思います。今後ともご協力をお願い申し上げます。

なお、一点だけ、さらにお願いを申し上げます。

お申込みは、ニュースで、詳細を発表させていただいてから～になさってください。申込み方法が変わるかも知れませんが、お申込みのハガキが紛失する可能性も多いのです。発表以前のお申込みは無効です、と申上げて、早く、ハガキをお出しになる方がございます。ルールはお守りください。もう一つ。見学会を申込んで、当日お忘れにならないようお願いいたします。

### 3.今 後 の イベント スケジュール について

- (1) 12月11日(土) 見学会 自然の博物館(秩父) 秩父の歴史を見に行きます
- (2) 1月30日(日) 車人形見学と三富新田 見学会 柳沢吉保の開拓した新田と民俗行事
- (3) 2月13日(日) 出張博物館 in 上里 (2.12~2.23) 見学会 県北の遺跡も見ましょう
- (4) 3月6日(日) ~8日(火) 友の会・奈良ツアー 友の会初めての「おとまり」見学会
- (5) 3月27日(日) 講演会「武蔵の国学者たち」 跡見学園女子大学講師 中川和明氏
- (6) 3月(日程・行き先未定) 遺跡発掘見学会 友の会恒例の～

博物館は11月15日(月)から3月14日(月)まで、改修工事のため休館となりますが、友の会は元気はつらつ、営業させていただきます。「JUNO」も毎月、お届けいたします。

### 4.「能楽入門」の小冊子をお届けいたします

花王・コミュニティミュージアム 2009 でいただいた資金で、友の会で初めて「本」を発行いたしました。執筆も編集も、みんな「友の会」の仲間です。何回も、大宮駅西口の桜木公民館にお集まりいただき、知恵を結集して、この「本」は出来上がりました。

あなたの「能楽入門」に役立ちましたら、うれしいことです。

### 5.お祝いくださる方もありませんが、この「ニュース」も～

「JUNO」も発刊以来、なんとか50号となりました。実は、「JUNO」という名前がつく前に「友の会ニュース」発刊準備号を3号出しているのです、通算53号ということになります。

最初は50部ほどなので、一人で印刷・発送も出来ていたのですが、いまは430部以上。印刷・発送は理事・サポーターの「岩井グループ」「斎藤グループ」により、隔月交代でやっています。

友の会の奈良ツアーは、ひと味違った知的な見学会

# 友の会・奈良ツアー

友の会で初めてのお泊り見学会は、友の会の名に恥じない、  
他にはちょっとないツアー。東大寺二月堂のお水取り、そ  
して飛鳥、山辺の道、邪馬台国畿内説のスポットを一挙に  
まわり、「奈良通」のベテランになって帰ってきましょう。

○第一日・3月6日(日)

東京(7:33発)～新幹線～京都(10:15着)＝(貸切バス)＝神功皇后陵などの佐紀・  
盾列(さき・たたなみ)古墳群＝平城京跡(復元・大極殿、朱雀門)＝二月堂お水取り見学  
＝夕食＝ホテル

○第二日・3月7日(月)

ホテルにて朝食後、8時半発＝飛鳥見学(貸切バス)＝夕食＝ホテル

＜見学地：藤原京跡、山田寺跡、万葉文化館、亀形石、酒船石、飛鳥寺、板蓋宮跡、石舞台、  
橘寺、川原寺跡、亀石、天武・持統天皇合葬陵、鬼の俎板・雪隠、欽明天皇陵、水落遺跡・  
石神遺跡、甘樫丘、本薬師寺、牽牛子塚古墳など＞

○第三日・3月8日(火)

ホテルにて朝食後、8時半発＝山辺の道・纏向遺跡・石上神宮見学(貸切バス)＝京都(18:  
13発)～新幹線～東京(21:10着)

＜見学地：海石榴市跡、大神神社、箸墓(箸中山古墳)、ホケノ山古墳、纏向古墳群、景行天  
皇陵、櫛山古墳、崇神天皇陵、天神山古墳、黒塚古墳、中山大塚古墳、西殿塚古墳、東殿塚  
古墳、下池山古墳、西山古墳、塚穴山古墳、石上神宮など＞

※ホテルは2泊とも、コンフォートホテル奈良・シングル (JR奈良駅3分)

※第一日昼食と第三日夕食は駅弁。その他は外食。

※三日とも歩く部分がありますので、恐縮ながら、お足不自由な方はご参加をご遠慮ください。

※見学地を変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ご案内は会長・宮川進があたらせていただきます。

参加費 65,000円(交通費・宿泊費・食費・拝観料・保険料など一切)

中型バス使用のため、定員27名(最少催行19名)。お申込み多数の場合は、先着順。お申込み資格は会員とご家族。ハガキにご住所・氏名・お電話番号・(バス隣席ご希望の場合は同じハガキで)・会員番号・イベント名をご記入のうえ、〒343-0041 越谷市千間台西2-17-16 宮川進へ。締切11月30日(火)。ご参加の可否は締切後、お知らせいたします。参加費のお振込みはその後をお願いいたします。お問合わせ＝TEL&FAX048-975-9139 宮川  
1月6日後のキャンセルはJRの定めるキャンセル料および当会実損補填費が必要となります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

# 秩父と自然の博物館

12月の見学会は、秩父へ行って、県立自然の博物館を訪ね、長瀨の地質のお話をおうかがいしたり、小さな古墳ではありますが、石室の中へ入って、石積み的美しさに古代人の思いを偲んだり…。

冬の秩父の一日を楽しくすごしましょう。

**実施日** 平成22年12月11日(土)

**集合** 午前8時・JR大宮駅西口・ソニックビル西側

**参加費** 6,000円(バス代・昼食代など)

**見学コース** 大宮＝長瀨町・応安の板碑(日本最大・高さ5.35M)＝宝登山神社＝  
県立自然の博物館＝長瀨見学＝  
皆野町・金崎古墳群＝皆野大塚  
古墳(秩父最大の古墳)＝大宮

埼玉県立自然の博物館は自然史分野を扱う県内唯一の博物館。過去から未来へ、埼玉3億年の旅が分かる展示。化石、岩石、鉱物などと、埼玉を代表する四つの森と、そこに住む動物たちを展示しています。

◎ご参加のお申込みは、ハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号・参加イベント名を明記し、11月29日(月)までに、〒339-0056 さいたま市岩槻区加倉1-15-4 松岳俊一へ。会員限定ですが、ご家族、お友達のご参加可。同じバスご希望の場合は連名で。

☆集合場所の地図をご希望の方は、そのむね、ハガキのご記入ください。

○お問い合わせ、間際、当日の緊急電話 090-4139-2740 宮川



平成22年12月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

## 三ヶ日化石人骨は旧石器時代のもではなかった

理事 大野典司

### ＝私のふるさと＝

私の故郷は、静岡県三ヶ日町（合併により浜松市北区三ヶ日町）である。浜名湖のほとり、後背は山に囲まれ、初冬には全山が特産のミカンで黄金色に染まる、気候温暖な里である。

昭和34～36年に三ヶ日町の石灰岩採石場から、部分的な人骨が発見された。頭骨片5点、大腿骨等複数の成人の人骨の化石である。

東京大学人類学教室の鈴木教授の分析・鑑定により、人骨の年代は、フッ素のデータや動物骨の分析から、18000年前の更新世後期、旧石器時代のもだと推定された。このことが小さな町の大きな話題となったことを覚えている。そして、この地は現在も洞穴遺跡として保存されている。

### ＝三ヶ日人＝

昭和50年代の高校の日本史教科書にも、日本の旧石器時代の人類、三ヶ日人として紹介されることとなり、全国的に名を知られることとなった。

また、網野善彦著「日本社会の歴史」で、後期旧石器を使う、ホモ・サピエンスの特徴をもった人類として、三ヶ日人、浜北人などが、それに当たると紹介されている。

このころの日本の気候は極めて寒冷で、この人々は洞穴のような住居に住み、槍などを使って狩猟を行っており、遺跡からは石刃やナイフ型の石器が多く出土しているという。

### ＝分析方法の進歩で＝

ところが、最近の放射性炭素年代法による分析で、三ヶ日人骨は、9000年前の新石器時代、縄文時代早期に当たることがわかった、と「日本の考古学」上巻に出ていた。

考古学の分析方法の進歩がもたらした結果であり、似た例としては、私が高校で習った明石原人も現在では縄文時代以降に属するという説が有力であるという。

### ＝ロマンは変わらず＝

旧石器時代が、新石器時代になっても、約1万年前に、私の故郷の町にホモ・サピエンスに近い祖先が洞穴に住み、槍で動物を追って暮らしていたという姿に親近感を覚えることに変わりはない。

1万年前の人骨として、日本で発見されているものに、沖縄県のものが多いということから、三ヶ日人が18000年前、原始日本列島の第4氷期の後半に、はるばると南の方から、この地に移動して来たのではないかと、私なりに想像をふくらませ、ロマンを感じている次第である。

## 友の会トピックス①

### 1.博物館休館中も友の会は元気にやっています！ 今後のスケジュール

- (1) 12月25日(土) 岩槻散策会 花王プロジェクトのタネ探しに岩槻を歩きます(別項参照)
- (2) 1月30日(日) 見学会 「竹馬沢車人形と三富新田」 (別項参照)
- (3) 2月13日(日) 見学会 「出張博物館 in 上里」 県北の上里町立郷土博物館で行われる出張博物館に呼応し見学会を上里町を中心に行ないます。
- (4) 3月6日～8日 見学会 「奈良ツアー」
- (5) 3月15日(火) 博物館再開
- (6) 3月27日(日) 講演会 「武蔵の国学者たち」 跡見学園女子短大講師・中川和明氏
- (7) 3月＝未定＝ 見学会 「遺跡発掘現場」 場所・日程は未定です

### 2.平成23年度のイベント案を決定しました まだ(仮)ではありますが、お目通しのうえ、ご期待ください

- (1) 4月 講演会「万葉集の成立」 「万葉集」はだれの、どういう意図で作られたのか
- (2) 5月 講演会「ごぜ唄の話」 埼玉にもやってきた「ごぜ」さんのお話
- (3) 6月 見学会「群馬・かみつけの里」など 榛名山南麓の保渡田八幡塚等を訪ねます
- (4) 7月 講演会「天皇陵か？ 八角形墳の謎」 飛鳥の八角形墳と関東の八角形墳～
- (5) 8月 見学会「出土品展と太田天神山古墳」 天神山古墳は関東最大の前方後円墳
- (6) 9月 講演会「日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか」
- (7) 10月 見学会「武蔵の式内社をめぐる」
- (8) 11月 見学会「房総風土記の丘とはにわまつり」
- (9) 12月 講演会「中世を道から読む」
- (10) 1月 見学会「白洲次郎・正子の武相荘」
- (11) 2月 見学会「地酒づくりの現場とその周辺」 新酒が出来る時期です
- (12) 3月 講演会「関東の戦国時代」
- (13) 3月 見学会「遺跡発掘現場」 楽しみにしていただいている方も多いので～

### 3.友の会会員のご継続を、お願いいたします

3月で友の会の会計年度もかわります。ぜひ、次年度もご継続くださいますよう、お願い申し上げます。振り替え用紙は1月のニュースから同封を開始させていただきます。

### 4.1月～3月にご入会の方は、3月までの会費は無料です

4月からの会費をお振込みいただきますと、1～3月も会員として、イベントにご参加いただけますし、ニュースもお受取いただけます。ぜひ、この機会にお友達などを「友の会」へお誘いください。一緒にイベントへお出かけいただくのなら、「友の会」の楽しみも2倍、3倍になります。

### 5.友の会への応援は博物館への応援です。あなたもご参加ください

来年こそは、あなたも社会貢献の一翼を担ってください。2ヶ月ごとに受付当番やニュースの発送のお手伝いをさせていただくなど～福祉の分野だけではなく、文化の分野においても、市民の応援は必要です。欧米では、いろいろな形での貢献が行なわれています。あなたも、一歩だけ、前へ進んではいただけませんか。お問い合わせはTELかFAX048-975-9139 宮川へ。

## 友の会トピックス② 花王プロジェクト関係

### ◎昨年度に引き続き、2010 花王プロジェクトの助成をいただきます。今回はなにをするのか？

おそらく、全国ではじめての「博物館のプロモーションビデオ」を作ります。博物館へ「アシを運んでいただく」ためのビデオです。言葉を変えれば、「博物館と地域をつなぐ学習ツール」を作るのです。（そのほかにも、マップなども考えたいと思っています）

前回は人形の街・岩槻に縁が深い「五人囃子」をテーマとしたものであったので、それを一部、継承するカタチで、今回は岩槻区民の方々に当博物館へ来ていただくためのビデオです。

### ◎すでにあるものは作らない！

岩槻にも、観光や広報、産業支援などのビデオはあります。そういうものは作りません。

### ◎では、具体的に、どのような～

対象である、岩槻の方々が何に興味を持っておられるか？ ベースである岩槻の歴史や民俗を織り込みながら、博物館へのご関心をふかめていただくものを作りたい。

岩槻と関係の深い博物館の所蔵物、これは欠かせないでしょう。そのあった岩槻の現地も紹介しましょう。「うちの近所のものが博物館にあるんだって」～そんな風に自慢もしていただければ、博物館と地域の方々は強く強く、結びつくのではないのでしょうか。

### ◎なぜ、岩槻に肩入れするのか？

今回はプロモーションビデオのテスト作です。昨年の続きで岩槻を取り上げる～次はさいたま市の他の区でもよいし、他の市であってもよい。全県銘柄である当・博物館ならば、将来は、全県のものを備える必要があるかも知れません。

博物館のショーケースの中のもの、自分の郷里のものであるという誇りを県民の方々にもっていただく～地域博物館の原点の一つでもあると思います。

### ◎会員の方々の総力を結集して作りましょう！

前回も会員の方に呼びかけて、準備作業などにお手伝いをいただきました。そして、それは友の会の大きな財産となりました。今回も、地元・岩槻にお住まいの方はもちろん、他の方々にもご協力をお願いいたします。そして、みんなで、全国で初めての「博物館と地域をつなぐ学習ツール」を作りあげようではありませんか！

### ◎まず最初は、岩槻のマーケットリサーチから～

岩槻には何があるのか。それを見たり、お話を聞いたり～そんなことから始めたいと思います。12月25日（土）午前9時半、野田線岩槻駅改札前集合で観光ボランティアガイドの方のご案内で、とりあえず、半日、岩槻を見て歩きます。

そのあと、1月9日（日）同じく午前9時半、野田線岩槻駅改札前集合で、観光ボランティアガイドの方と教育委員会の方からお話を聞く「半日座学」です。ご関心のある方、どなたもご参加ください。資料準備の都合上、ご参加される方はTEL・FAX 048-757-9440 松岳（まつおか）へ。

㊦ルマ人形＝三人で操る文楽人形とことなり、「ロクロ車」に  
またがって一人で操る人形芝居。一人という簡便さと速い動  
きが出来ることが大きな特長。国内で三ヶ所だけに残る。

サント ㊦新田＝元禄時代、当時の川越藩主・柳沢吉保が推進し  
た新田開発によって武蔵野の牧草地に出来た新田。

＝埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会・埼玉県立歴史と民俗の博物館・共催・見学会＝

# 竹間沢車人形と三富新田

☆入間郡三芳町竹間沢（ちくまざわ）の車人形は、実は大正10年の興行の後、昭和47年まで、約50年間途絶えていました。復活後30数年経過したいま、地元での興行をぜひ、見学したいもの。  
☆また、江戸時代初期に行なわれた「新田開発」とはどういうものなのか？ その「地割」などの姿がキチンと残る三芳町で確かめておくのも、楽しいことですよね。

**実施日** 平成23年1月30日（日）

**集 合** 午前8時30分・JR大宮駅西口・ソニックビル西側

**参加費** 5,000円（バス代・昼食代など）

**ご案内** 三芳町歴史民俗資料館館長・松本富雄氏

**コース** 大宮＝三芳町上富小学校（屋上から新田地割観察）

島田家住宅・多福寺＝歴史民俗資料館＝竹間沢車人形公演

見学（14時～16時）＝大宮＜帰着17時半予定＞

◎ご参加のお申込みは、ハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号  
・参加イベント名を明記し、12月31日（金）までに、〒331-0805  
さいたま市北区盆栽町378-2-702 滝沢由美子へ。会員限定ですが、  
ご家族、お友達のご参加可。同じバスご希望の場合は連名で。集合  
場所の地図ご希望の場合は、そのむね ハガキにご記入ください。

◎お問い合わせ、間際、当日の緊急電話 090-4139-2740 宮川

**埼玉県立と民俗の博物館友の会**

平成22年12月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

## 三ヶ日化石人骨は旧石器時代のもではなかった

理事 大野典司

### ＝私のふるさと＝

私の故郷は、静岡県三ヶ日町（合併により浜松市北区三ヶ日町）である。浜名湖のほとり、後背は山に囲まれ、初冬には全山が特産のミカンで黄金色に染まる、気候温暖な里である。

昭和34～36年に三ヶ日町の石灰岩採石場から、部分的な人骨が発見された。頭骨片5点、大腿骨等複数の成人の人骨の化石である。

東京大学人類学教室の鈴木教授の分析・鑑定により、人骨の年代は、フッ素のデータや動物骨の分析から、18000年前の更新世後期、旧石器時代のもだと推定された。このことが小さな町の大きな話題となったことを覚えている。そして、この地は現在も洞穴遺跡として保存されている。

### ＝三ヶ日人＝

昭和50年代の高校の日本史教科書にも、日本の旧石器時代の人類、三ヶ日人として紹介されることとなり、全国的に名を知られることとなった。

また、網野善彦著「日本社会の歴史」で、後期旧石器を使う、ホモ・サピエンスの特徴をもった人類として、三ヶ日人、浜北人などが、それに当たると紹介されている。

このころの日本の気候は極めて寒冷で、この人々は洞穴のような住居に住み、槍などを使って狩猟を行っており、遺跡からは石刃やナイフ型の石器が多く出土しているという。

### ＝分析方法の進歩で＝

ところが、最近の放射性炭素年代法による分析で、三ヶ日人骨は、9000年前の新石器時代、縄文時代早期に当たることがわかった、と「日本の考古学」上巻に出ていた。

考古学の分析方法の進歩がもたらした結果であり、似た例としては、私が高校で習った明石原人も現在では縄文時代以降に属するという説が有力であるという。

### ＝ロマンは変わらず＝

旧石器時代が、新石器時代になっても、約1万年前に、私の故郷の町にホモ・サピエンスに近い祖先が洞穴に住み、槍で動物を追って暮らしていたという姿に親近感を覚えることに変わりはない。

1万年前の人骨として、日本で発見されているものに、沖縄県のものが多いということから、三ヶ日人が18000年前、原始日本列島の第4氷期の後半に、はるばると南の方から、この地に移動して来たのではないかと、私なりに想像をふくらませ、ロマンを感じている次第である。

## 友の会トピックス①

### 1.博物館休館中も友の会は元気にやっています！ 今後のスケジュール

- (1) 12月25日(土) 岩槻散策会 花王プロジェクトのタネ探しに岩槻を歩きます(別項参照)
- (2) 1月30日(日) 見学会 「竹馬沢車人形と三富新田」 (別項参照)
- (3) 2月13日(日) 見学会 「出張博物館 in 上里」 県北の上里町立郷土博物館で行われる出張博物館に呼応し見学会を上里町を中心に行ないます。
- (4) 3月6日～8日 見学会 「奈良ツアー」
- (5) 3月15日(火) 博物館再開
- (6) 3月27日(日) 講演会 「武蔵の国学者たち」 跡見学園女子短大講師・中川和明氏
- (7) 3月＝未定＝ 見学会 「遺跡発掘現場」 場所・日程は未定です

### 2.平成23年度のイベント案を決定しました まだ(仮)ではありますが、お目通しのうえ、ご期待ください

- (1) 4月 講演会「万葉集の成立」 「万葉集」はだれの、どういう意図で作られたのか
- (2) 5月 講演会「ごぜ唄の話」 埼玉にもやってきた「ごぜ」さんのお話
- (3) 6月 見学会「群馬・かみつけの里」など 榛名山南麓の保渡田八幡塚等を訪ねます
- (4) 7月 講演会「天皇陵か？ 八角形墳の謎」 飛鳥の八角形墳と関東の八角形墳～
- (5) 8月 見学会「出土品展と太田天神山古墳」 天神山古墳は関東最大の前方後円墳
- (6) 9月 講演会「日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか」
- (7) 10月 見学会「武蔵の式内社をめぐる」
- (8) 11月 見学会「房総風土記の丘とはにわまつり」
- (9) 12月 講演会「中世を道から読む」
- (10) 1月 見学会「白洲次郎・正子の武相荘」
- (11) 2月 見学会「地酒づくりの現場とその周辺」 新酒が出来る時期です
- (12) 3月 講演会「関東の戦国時代」
- (13) 3月 見学会「遺跡発掘現場」 楽しみにしていただいている方も多いので～

### 3.友の会会員のご継続を、お願いいたします

3月で友の会の会計年度もかわります。ぜひ、次年度もご継続くださいますよう、お願い申し上げます。振り替え用紙は1月のニュースから同封を開始させていただきます。

### 4.1月～3月にご入会の方は、3月までの会費は無料です

4月からの会費をお振込みいただきますと、1～3月も会員として、イベントにご参加いただけますし、ニュースもお受取いただけます。ぜひ、この機会にお友達などを「友の会」へお誘いください。一緒にイベントへお出かけいただくのなら、「友の会」の楽しみも2倍、3倍になります。

### 5.友の会への応援は博物館への応援です。あなたもご参加ください

来年こそは、あなたも社会貢献の一翼を担ってください。2ヶ月ごとに受付当番やニュースの発送のお手伝いをさせていただくなど～福祉の分野だけではなく、文化の分野においても、市民の応援は必要です。欧米では、いろいろな形での貢献が行なわれています。あなたも、一歩だけ、前へ進んではいただけませんか。お問い合わせはTELかFAX048-975-9139 宮川へ。

## 友の会トピックス② 花王プロジェクト関係

### ◎昨年度に引き続き、2010 花王プロジェクトの助成をいただきます。今回はなにをするのか？

おそらく、全国ではじめての「博物館のプロモーションビデオ」を作ります。博物館へ「アシを運んでいただく」ためのビデオです。言葉を変えれば、「博物館と地域をつなぐ学習ツール」を作るのです。（そのほかにも、マップなども考えたいと思っています）

前回は人形の街・岩槻に縁が深い「五人囃子」をテーマとしたものであったので、それを一部、継承するカタチで、今回は岩槻区民の方々に当博物館へ来ていただくためのビデオです。

### ◎すでにあるものは作らない！

岩槻にも、観光や広報、産業支援などのビデオはあります。そういうものは作りません。

### ◎では、具体的に、どのような～

対象である、岩槻の方々が何に興味を持っておられるか？ ベースである岩槻の歴史や民俗を織り込みながら、博物館へのご関心をふかめていただくものを作りたい。

岩槻と関係の深い博物館の所蔵物、これは欠かせないでしょう。そのあった岩槻の現地も紹介しましょう。「うちの近所のものが博物館にあるんだって」～そんな風に自慢もしていただければ、博物館と地域の方々は強く強く、結びつくのではないのでしょうか。

### ◎なぜ、岩槻に肩入れするのか？

今回はプロモーションビデオのテスト作です。昨年の続きで岩槻を取り上げる～次はさいたま市の他の区でもよいし、他の市であってもよい。全県銘柄である当・博物館ならば、将来は、全県のものを備える必要があるかも知れません。

博物館のショーケースの中のもの、自分の郷里のものであるという誇りを県民の方々にもっていただく～地域博物館の原点の一つでもあると思います。

### ◎会員の方々の総力を結集して作りましょう！

前回も会員の方に呼びかけて、準備作業などにお手伝いをいただきました。そして、それは友の会の大きな財産となりました。今回も、地元・岩槻にお住まいの方はもちろん、他の方々にもご協力をお願いいたします。そして、みんなで、全国で初めての「博物館と地域をつなぐ学習ツール」を作りあげようではありませんか！

### ◎まず最初は、岩槻のマーケットリサーチから～

岩槻には何があるのか。それを見たり、お話を聞いたり～そんなことから始めたいと思います。12月25日（土）午前9時半、野田線岩槻駅改札前集合で観光ボランティアガイドの方のご案内で、とりあえず、半日、岩槻を見て歩きます。

そのあと、1月9日（日）同じく午前9時半、野田線岩槻駅改札前集合で、観光ボランティアガイドの方と教育委員会の方からお話を聞く「半日座学」です。ご関心のある方、どなたもご参加ください。資料準備の都合上、ご参加される方はTEL・FAX 048-757-9440 松岳（まつおか）へ。

㊦ルマ人形＝三人で操る文楽人形とことなり、「ロクロ車」に  
またがって一人で操る人形芝居。一人という簡便さと速い動  
きが出来ることが大きな特長。国内で三ヶ所だけに残る。

サント ㊦新田＝元禄時代、当時の川越藩主・柳沢吉保が推進し  
た新田開発によって武蔵野の牧草地に出来た新田。

＝埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会・埼玉県立歴史と民俗の博物館・共催・見学会＝

# 竹間沢車人形と三富新田

☆入間郡三芳町竹間沢（ちくまざわ）の車人形は、実は大正10年の興行の後、昭和47年まで、約50年間途絶えていました。復活後30数年経過したいま、地元での興行をぜひ、見学したいもの。  
☆また、江戸時代初期に行なわれた「新田開発」とはどういうものなのか？ その「地割」などの姿がキチンと残る三芳町で確かめておくのも、楽しいことですよね。

**実施日** 平成23年1月30日（日）

**集 合** 午前8時30分・JR大宮駅西口・ソニックビル西側

**参加費** 5,000円（バス代・昼食代など）

**ご案内** 三芳町歴史民俗資料館館長・松本富雄氏

**コース** 大宮＝三芳町上富小学校（屋上から新田地割観察）

島田家住宅・多福寺＝歴史民俗資料館＝竹間沢車人形公演

見学（14時～16時）＝大宮＜帰着17時半予定＞

◎ご参加のお申込みは、ハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号  
・参加イベント名を明記し、12月31日（金）までに、〒331-0805  
さいたま市北区盆栽町378-2-702 滝沢由美子へ。会員限定ですが、  
ご家族、お友達のご参加可。同じバスご希望の場合は連名で。集合  
場所の地図ご希望の場合は、そのむね ハガキにご記入ください。

◎お問い合わせ、間際、当日の緊急電話 090-4139-2740 宮川

**埼玉県立と民俗の博物館友の会**



---

平成23年2月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

---

## 慶州への旅

博物館 主任学芸員 加藤かな子

12月下旬、30年ぶりの寒波が到来していたソウル・インチョン空港を立ち、高速バスで慶州に向かった。

慶州は、三国時代から統一新羅時代まで、千年にわたり新羅の都が置かれていた場所である。数多くの史跡が点在することから「屋根のない博物館」とも称され、1995年にはユネスコの世界遺産に登録された。

天馬塚や皇南大塚など23基の古墳が保存されている大陵園周辺には、朝鮮時代の伝統家屋（韓屋）が建ち並ぶ。低い韓屋の屋根瓦の向こうに古墳を望む風景は、古都慶州でしか味わうことが出来ない。朝鮮半島の歴史の重層性が感じられる場所である。

韓国を旅していて必ず目にし、耳にするのは、秀吉軍と日本帝国主義時代（日帝時代）の日本の負の歴史である。

今回も、仏国寺の解説文には「秀吉軍の焼き討ちにより伽藍が全焼したため、統一新羅時代の遺物は礎石だけとなり、現在の建物は17世紀から徐々に再建された」と書かれていた。

また、石窟寺院、石窟庵の内部に彫られている仏像の何体かは、日帝時代に日本人により持ち出されたと言われている。こうした負の歴史は、日本で放送される韓国関係の番組ではまず触れられず、現地を訪れて解説文を読まねばわからない事実である。

数年前に晋州という田舎町を訪ね、道を尋ねるために交番に行った時のこと。とても親切な警察官が、私が行きたい場所まで車（もちろんパトカー）で送ってくれるという。名前を聞かれたので、「加藤です」と答えたところ、「あなたは加藤清正の末裔ですか？」と、とても驚かれた。城があった晋州は12万人の秀吉軍が押し寄せた激戦地で、約7万人が犠牲になったと伝えられる場所だったのだ。

旅の記憶のなかには、必ずお世話になった人たちがいる。「東洋のラテン」とも称され、情に厚く、人懐っこい韓国人と話すのは何より楽しい。そんな中、光州で出会ったおばあちゃんの一言は、今も心に焼付いている。そのおばあちゃんは、「小学生の頃、“夕焼け”という言葉が韓国語だと思っていた。日本語だと知って哀しかった」と静かに韓国語でつぶやいていた。懊悩呻吟した人の肉声は、教科書では学べない重さを実感させるものであった。

韓国語で、旅人のことをナグネという。旅人というよりは「さすらい人」という意味合いが強い。個人旅行のよいところは、自由気ままに、漂うように旅ができることにある。

今回は、太白山にある炭鉱博物館を訪ねてみたい。ここではどんな人たちとの出会いがあるのか・・・今から楽しみである。

## 1. 友の会、23 年度会員更新をよろしくお願いいたします

ニュース 1 月号からの、会員更新手続きにご協力いただきまして、ありがとうございます。200 名を超える方々からの年会費お振込みをいただき、心よりお礼を申し上げます。未更新の方々には、ご更新をよろしくお願いを申し上げます。

今月も振込み用紙を同封させていただいております。なお、新会員証のご送付はニュースの発送に合わせさせていただいておりますので、月末近いお振込みは会員証のご送付が翌々月になることもあるかと思っております。会員証が着くまで、郵便局の領収書を、お手元に保存くださいますようお願いを申し上げます。

## 2. 博物館の改修完成を記念して、勝手連風に、「記念講演会」を開催させていただきます

このニュースにて、お知らせのとおり、急遽、大塚初重先生の講演会を組ませていただきました。藤野元館長のご尽力、大塚先生のご好意により、この講演会は実現しました。平日ではございますが、ふるってのご参加をお待ちしております。

一般の方へも開催を告知しますので、会員の皆さまの早めのお申込み、くれぐれも、よろしくお願いいたします。

## 3. 今後の友の会と博物館のイベントスケジュール

上記の講演会が加わって、3 月はイベントが四つもあります。また、4 月、5 月も、興味深い講演会を実施予定です。積極的なご参加をお考えください。

- ◎3 月 6～7 日 友の会奈良ツアー（申込み締切済）
- ◎3 月 13 日（日） 友の会・遺跡発掘見学会
- ◎3 月 15 日（火） 博物館再開 友の会・大塚初重先生・講演会
- 3 月 26 日（土） 博物館特別展「皇女和宮と中山道」 5 月 8 日（日）まで
- ◎3 月 27 日（日） 「武蔵の国学者たち」 友の会・中川和明先生・講演会
- ◎4 月 24 日（日） 「万葉集の成立」 友の会・城崎陽子先生・講演会  
～万葉集はどのような意図でつくられたのでしょうか～
- ◎5 月 29 日（日） 「ごせ唄を聞く」（仮題） 友の会・月岡祐紀子先生・講演会  
～以前は埼玉にもやってきた瞽女さんのお話～

＜各イベントのお申込みは、ニュースで詳細を発表してからにお願いいたします。  
それ以前のお申込みは無効とさせていただきますので、ご了承ください＞

## 4. 新年度を期しての「サポーター」さん募集に手をあげてください

新しい年度になって、生活が変わった。余裕時間が増えた、という方もおられると思います。ぜひ、友の会へ、あなたの「おちから」を貸していただけませんか？

博物館が再開されると、土日祭には「友の会」の受付も行なわれます。そちらへ、チョットお立ち寄りください。そして、どんなことをしているのか、聞いてみてください。いま、「受付」「ニュース発送」はふたつのチームで隔月に担当していただいております。ですから、二ヶ月に 1 回、「おちから」を貸していただくだけで結構なのです。さらなる新しい方のご参加をお願いいたします。

# 早春の古代遺跡ウォーク

また、やってきました、遺跡発掘現場の見学会の季節。古代ロマンに浸ることの出来る稀有のチャンスです。

今年埼玉県埋蔵文化財調査事業団の発掘現場「坂戸市・下田遺跡」です。

関越自動車道付加車線事業に伴っての発掘で、越辺（おっぺ）川と高麗（こま）川とに挟まれた「入西条里」（にっさいじょうり。「にっさいとは人間の西」の意）の一部である古代の水田域、短刀の埋葬されていた木棺墓、奈良・平安時代の住居跡、中世の屋敷跡などが見つかっています。

いわゆる条里制の水田とはどういうものなのか、そして、そこで頑張った、古代農民の働きのことなどを確認してみようではありませんか？

◎日時 平成23年3月13日（日） 雨天中止

午前10時～12時 <お弁当の持参は原則不要です>

◎集合 東武東上線・北坂戸駅改札口・午前10時

○コース 北坂戸駅→約2KM（徒歩・約30～40分）→下田遺跡

（遺跡見学）→約2KM（徒歩・約30～40分）→北坂戸駅

ゆっくり、早春の散歩を楽しみましょう！

◎遺跡ご説明 埋蔵文化財調査事業団職員

◎参加費 無料（会員限定ですが、ご家族・お友達のご参加可）

○参加お申込み ハガキに住所・氏名・電話番号・イベント

名を記入し、3月8日（火）までに〒330-0803

さいたま市大宮区高鼻町2-212 岩井隆興へ。ご返事はいたしません。お申込みの方はご参加いただけます。

緊急・当日のご連絡は090-7170-3294 岩井。

埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会・共催・歴史講演会

# 武蔵の国学者たち

平田篤胤と門人集団

武蔵国には、三百数十人も平田門人がいました。権田直助（入間郡毛呂本郷）、根岸武香（大里郡吉見村）、鹿子田荒尾（川越藩士）、岩井宅道（氷川神社）、宮西諸助（日枝神社）などが、時代の転換期に多彩な活動を繰り広げています。歴史に埋もれた平田派の思想と運動に光を当て、武蔵国の国学を見直してみましよう。

講師 跡見学園女子大学講師 中川和明先生

とき・平成23年3月27日（日）午後1時半～3時

ところ・埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂（東武野田線・大宮公園駅下車・5分）

ご参加無料

お申込みは往復ハガキに①講演会名②ご住所③お名前④お電話番号⑤友の会会員は会員番号を明記して、〒330-0800

3さいたま市大宮区高鼻町4-219埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。

※締切3月21日（月） 定員150名を超えた場合、先着順とし、途中でも締切ります。往復ハガキ以外のお申込みは無効です。

共催・埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成23年3月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

## 丹後を旅して—魅力いっぱいの遺跡・神社・伝承

理事 齊藤 亨

丹後を旅した。丹後半島では弥生中期から古墳時代の初めにかけての500年間の「鉄と青いガラス」の国の歴史を見ることができる。丹後半島を取り巻く海の景観は申し分ないし、魚もうまい。「二度と行くまい丹後の宮津 縞の財布が空になる」で始まる宮津節があるが、二度ならず何度でも行ってみたいところだ。

人情も豊かで、口で説明するよりこの方が早いといって、軽トラで目的地まで案内して下さった方、あそこには虻がいるからと、「長靴と棒を貸してやる」と言ってくれた古墳近くのおばあさん。幸せを感じた旅だった。丹後の古代の遺跡は阿蘇海沿岸、日本海に注ぐ竹野川・福田川・川上谷川、それに野田川流域の沖積平野や、沖積平野を見下ろす台地上、丘陵稜線上に広く分布している。

野田川上流域の加悦谷や竹野川上・中流域に展開した勢力は古墳時代に入っても継承はされていくが、中心は弥生後期後葉に福田川流域に成立した王権にとって代わる。この勢力はやがて大陸や日本海沿岸地域との交易に便利な丹後半島の先端地域に拠点を移し、網野銚子山や神明山などの大前方後円墳を築いていく。しかし5世紀中葉以降には古墳の規模は縮小する。そんな歴史の流れを目にすることができる。

阿蘇海沿岸	大風呂南墳墓群	F	方形台状墓10基 1号墳:鉄剣11、ガラス釧1、銅釧13、ガラス勾玉10
野田川・加悦谷	日ヶヶ丘遺跡	D	方形貼石墓 碧玉製管玉670点以上、水銀朱、銅鐻形土製品
竹野川上流域	三坂神社墳墓群	E	方形台状墓6基 3号墳10主体部:大陸製素環頭鉄刀、鉄鏃、頭飾り・ガラス勾玉・管玉・小玉
竹野川中流域	七尾遺跡	A	方形台状墓2基—丹後地方最古の王墓 隣接する扇谷遺跡と一体をなす遺跡
	扇谷遺跡	B	二重環濠、鉄滓、鉄斧、ガラス塊、陶けん(中国古代の土笛)
	坂野丘遺跡	C	方形台状墓4~5第2主体部:ガラス勾玉6・小玉500以上、鉄剣1、碧玉管玉326点
	太田南5号墳	G	方墳、石棺、「青龍3年」銘方格規矩四神鏡(325年)、鉄刀、破砕供獻壺など
	太田南2号墳	G	方墳、舟形木棺、画文帯環状神獸鏡、鉄剣1、破砕供獻壺など
福田川流域	赤坂今井墳丘墓	F	南北39m×東西36m・高さ3.5m 舟形木棺、水銀朱、ガラス勾玉・管玉・碧玉製管玉を纏めた頭飾り・耳飾り ガラス管玉には中国古代の顔料「漢青」の主成分・珪酸銅・バリウムが含まれていた。第1主体部棺:未調査

弥生の主な遺跡等 A:前期 B:前期終わり~中期初め C:中期~後期 D:中期後半 E:後期初頭 F:後期後半 G:古墳時代前期

### 遺跡・文献・伝承からの情報について思うこと。

- ・日ヶヶ丘遺跡、大風呂南墳墓、赤坂今井墳丘墓は、中国山地から出雲・伯耆・因幡、越前・越中にかけて見られる四隅突出型墳墓とは異なる方形貼石墓といわれる丹後特有の墓制で、方形墓が多い大陸の古墳文化の影響を強く受けているように思う。これは方墳や前方後方墳に繋がる墳形とも考えたいが、丹後には五千基を超える古墳が在りながら、前方後方墳は無い。不思議である。
- ・野田川流域には加悦(かや)、白米山(しらげやま)といった地名があり、朝鮮半島との交流の痕跡が残る。
- ・製鉄やガラス加工などの先進技術を基盤とした、弥生後期の繁栄を窺わせる遺跡や出土物が多い。中でもガラスは対馬、佐賀とここ丹後から集中出土する。丹後のガラスは中国系の鉛・バリウムガラスとカリガラスであり、特に後者は丹後と但馬に特有のもののようなものである。赤坂今井墳丘墓のガラス管玉には「漢青」も使用されている。博物館で見るブルーに輝く首飾りなどガラス製装身具は実に見事である。
- ・丹後一宮籠神社の神官家である海部家に伝わる日本最古の『本系図』『勘注系図』も注目に値する。そこには記紀が伝えない古代の歴史が記されている。始祖彦火明命は「天忍穗耳尊」の第三子、即ち天照大神の孫で、「亦名 天火明命」「饒速日」…であるといい、記紀の天孫降臨神話とは別の同族降臨を伝えている。また、9代目の孫「日女命」は「亦名 倭迹迹日百襲姫命」「亦名 神大市姫命」…であり、14世孫川上眞稚命は「一云 道主命」と記す。系図によれば丹後勢力は初期大和政権に深く関わっていたことになるが…。
- ・日葉酢媛命(垂仁天后、丹波道主と丹波之川上之摩須郎女の娘)などの皇妃伝承やその系譜の盛衰も興味深い。「日本書紀」垂仁紀には五十瓊敷命「茅渟の菟砥川上宮に坐て、剣一千口を作る。…」と、「大和王権の鉄」に関わる記載がある。この一文は重要と思う。「鉄を制するもの…」である。また景行天皇の皇統の謚—それまでの「イリ」から「タラシ」に変わり、応神朝に至るまで続く。—も想像を膨らませる。
- ・籠神社に伝世する、天祖が彦火明命に授けたと伝わる息津鏡(後漢鏡 長宜子孫内行花文鏡)、辺津鏡(前漢鏡 内行花文鏡)を始め、古墳からは画文帯環状乳神獸鏡(大田南2号墳)、神人車馬画像鏡(岩滝丸山古墳)、長宜子孫内行花文鏡(蛭子山1号墳)など多くの古鏡が出土しているが、三角縁神獸鏡の出土は少ない。ただ魏の紀年鏡が丹後および丹波とその周辺で多く出土しているような気がしてならない【青龍三年銘方格規矩四神鏡-大田南5号墳・安満宮古墳(高槻)、景初四年銘縁盤龍鏡-広峯15号墳(福知山)、正始元年銘三角縁神獸鏡-森尾古墳(豊岡市)等】。
- ・川上谷川水系の中流、須田・伯耆谷の湯舟坂2号墳より見事な金銅装双龍環頭大刀が出土している。柄頭の環内の大小2対の龍が向かい合った図柄は伝「玉里舟塚古墳」(茨城県小美玉市)出土といわれる大刀のものとよく似ている。被葬者や大刀の由来が気になるところである。

## 友の会トピックス

### ◎3月16日以降の友の会と博物館のイベントスケジュール

- 3月19日(土)博物館ミュージアムトーク(学芸員展示解説)「埼玉の古墳」田中正夫氏(1時半~2時・当日先着順)
- 3月26日(土)博物館特別展「皇女和宮と中山道」開催(5月8日(日)まで)
- 同日 博物館ミュージアムトーク(学芸員展示解説)「皇女和宮降嫁」杉山正司氏(1時半~2時・当日先着順・要特別展観覧料)
- 3月27日(日)講演会「武蔵の国学者たち」講師 跡見学園女子大学講師 中川和明先生  
=武蔵の国の国学を、歴史の中に埋もれた平田派の運動に光を当てて、見直すものです=  
午後1時半 博物館講堂
- 4月24日(日)講演会「万葉集の成立」講師 國學院大學講師 城崎陽子先生  
=万葉集成立の意図、成立の過程に、どのような人たちが、関わったのでしょうか=  
午後1時半 博物館講堂
- 5月29日(日)講演会「ごぜ唄を聞く」講師 月岡祐紀子さん  
=武蔵にも巡ってきていた警女さんのお話です=  
午後1時半 博物館講堂  
《なお、午前中は当会の年度総会です。せひ、お越しください》
- 6月(日程等詳細未定) 見学会「群馬・かみつけの里、日本絹の里をめぐる」  
=榛名山麓にひろがる保渡田古墳群の八幡塚・二子山古墳、近くの日本絹の里、上野国分寺跡、国分尼寺跡、終末期の古墳が分かる総社古墳群の宝塔山・蛇穴山古墳などをめぐります

### ◎会員ご更新は、お済みいただけましたか？

3月初めの「友の会・奈良ツアー」も、ご参加の皆さまのご協力により無事終了いたしました。友の会のレポーターの幅が、またまた広がったことになりました。これからも、活動がマンネリになることのないよう、質、量とものアップを目指してがんばってゆきますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

4月期からのご更新のお手続きはお済みいただけましたでしょうか？

博物館を応援していただくお気持ちの表現として、ご更新をよろしくお願い申し上げます。新しい会員証をお送りいたしますのは、毎月10日のニュース「JUNO」の発送にあわせて行っておりますので、場合により、お送りが翌々月になることがありますので、ご了承をお願い申し上げます。郵便局の受領書をお手元にお残してください。なお、博物館再開後は土日祭に友の会受付当番がおりますので、そちらでもご更新のお手続きをしていただけます。

### ◎友の会イベントのお申込みについてのお願い

次の2点につきまして、ご協力をかさねてお願いいたします。

- 1.講演会へのお申込みは原則として「往復ハガキ」としております。返信を差上げます。見学会は当会役員さん、サポーターさんの個人宅への「通常ハガキ」によるお申込みとなります。この場合はお断りするとき以外は返信を差上げません。
- 2.すべての参加お申込みは、このニュースで1ページの大きさでのお知らせをしてからになさってください。それ以前のお申込みはいっさい無効です。

☆平成22年度・友の会のお世話をいただいた方々

＝ご苦労さまでした。これからも、よろしく願いいたします＝

◎Aグループ（斉藤文孝・副会長）

斉藤文孝（副会長・見沼区） 青山定義（監事・川口市） 大野典司（南区）  
黒澤勝利（西区） 小林都子（宮代町） 斉藤紀子（大宮区） 筑井信明（朝霞市）  
手塚 充（大宮区） 徳永憲郎（桶川市） 西本豊司（中央区） 橋本九二男（北  
区） 広重孝子（見沼区） 松岳俊一（岩槻区）

以上、特記のない方は理事

サポーター

加藤陽子（北区） 長島 勇（荒川区） 馬渡徳子（北区） 見富千恵子（大宮区）  
片岡節子（戸田市）

◎Bグループ（岩井隆興・副会長）

岩井隆興（副会長・大宮区） 石田 仁（上尾市） 上田彰一郎（大宮区）  
金子清敏（大宮区） 金子慶子（岩槻区） 金子 榮（伊奈町） 小坂橋美紗子（見  
沼区） 櫻井傳次郎（大宮区） 新開一男（蓮田市） 滝沢由美子（北区）  
町田富夫（大宮区） 三牧寛子（北区） 山口清光（見沼区） 遠藤久子（逝去）

以上、特記のない方は理事

サポーター

鈴木正子（中央区） 乗田真知子（川越市） 坊野清之（越谷市） 水村陽子（鴻  
巣市） 矢内喜美江（大宮区）

◎その他

宮川 進（会長・越谷市） 中村 均（副会長・草加市） 斉藤 亨（桜区）  
平野久雄（監事・川口市）

あなたも、ぜひ、お世話をさせていただくほうへ加わることをお考えくださるよう、  
お願いいたします。あなた、お一人ではありません。これだけのメンバーで友の会のお  
世話をさせていただくのです。また、A、Bグループで隔月に当番にあたっていただ  
いておりますので、ご負担は2ヶ月ごととなります。博物館のために、友の会のため  
に、楽しい「一役」を買っていただきますようお願いいたします。

具体的に、どういうことをさせていただくかについては、土日祭に博物館で友の会の  
受付に来ている当番さんにお聞きください。

あなたが手を上げていただくのを、お待ちしております！

よその博物館の特別展・ピックアップ

○品川歴史館＝「江戸の旅へようこそー今井金吾コレクションの世界ー」

道中記の研究で江戸時代の旅と街道の解明に功績のあった今井金吾氏の寄贈コレク  
ションの紹介。4月10日（月）まで。大森駅下車。03-3777-4060

○上野・東博＝「特別展・写楽」 4月5日～5月15日 03-5777-8600

○国立奈良博＝「特別展・誕生、中国文明」 4月5日～5月29日 03-5542-8600

# 万葉集の成立

万葉集といえば、歌の内容に心を奪われて、その成立について、あまり考えることがなかったのですが—

それが、様々な意図によって成り立っていることや、その時代背景などについても、知っておくことは必要なのではないのでしょうか？

講師 國學院大學兼任講師 城崎陽子 先生

とき 平成 23 年 4 月 24 日 (日)

午後 1 時 30 分～3 時

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

(東武野田線・大宮公園駅・徒歩 5 分)

**ご参加無料**

ご参加希望の方は往復ハガキに①講演会名②ご住所③お名前④お電話番号⑤友の会会員は会員番号～を明記して、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。

締切 4 月 20 日 (水) 定員 150 名をこえた場合は先着順とし、途中でも締切ます。往復ハガキ以外のお申込みは無効です。

共催：

埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会